

第5学年 体育科（保健領域）学習指導案

令和2年11月13日（金）第5校時

1 単元名 けがの予防

2 単元について

本単元は、小学校学習指導要領第5・6学年の目標（3）「心の健康、けがの防止及び病気の予防について理解できるようにし、健康で安全な生活を営む資質や能力を育てる。」を受け、内容G保健（2）「けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当ができるようにする。」に沿って設定されたものである。

健康な生活を送るには、事故やけがについてよく知り、事前に防止することが大切である。事故やけがが発生するときには、それが起こる要因があり、人の行動やそのときの心の状態や体の調子、周りの環境が大きな影響を与えている。本単元では、児童を取り巻く様々な環境において、隠れている危険や安全な行動を考え、正しい行動を理解すること、簡単なけがの手当ができるようになることをねらいとしている。

3 児童の実態

本学級の児童は、明るく活発な児童が多い。特に、男子は運動が好きな児童が多く、休み時間になると校庭に出て、サッカーをするなど活気に満ちあふれている。しかし、限られたスペースを他学年と使用することで接触事故を起こし、すり傷やきり傷をすることがある。校内では、教室の移動や委員会の仕事等に向かうときに急ぐあまり廊下を走ってしまったり、階段を飛び降りてしまったり、危険につながる行動をしてしまう児童も少なくはない。このことから、けがをふせぐための意識や安全な行動が身につけているとは言えない。

このような現状を踏まえ、ヒヤリ・ハット体験を生かしてけがや事故の防止を自分のものとして捉えられるようにする。また、「人の行動」や「そのときの心の状態や体の調子」、「環境」をキーワードとし、原因をきちんと捉えさせ、未然に事故やけがを防げるようにしていきたい。

4 教師の指導観

本単元の学習では、児童が事故やけがの原因や防ぎ方を理解し、けがのない生活をするを前向きに考えていくことが重要である。児童はけがをしたときに、自分の行動にばかり目を取られ、そのときの心の状態や体の調子、周りの環境に目が向かないことが多い。そこで、具体的な場面をあげながら、事故やけがは「人の行動」と「そのときの心の状態や体の調子」「環境」が関わり合い、起こっていることを理解させる。

指導にあたっては、事故やけがは、誰にでも起こり得る身近な問題であると意識させなくてはならない。そこで、事故の生活を振り返ったり、具体的な例を基にしながら話し合い活動を行ったりしていく。けがが起こる原因や防止策を考えることで、正しい判断を行う視点を増やしたり、けがをしないための安全な環境を整えたりする態度を養い、事故やけがを未然に防ごうとする意識を高めていきたい。また、けがをしにくい体やけがを治しやすい体をつくるためには、栄養バランスよく食事を取ることも重要である。けがを未然に防ぐためには、栄養バランスよく食事をすることも重要であることを取り上

げ、日頃から栄養バランスよく食事をとることを実践していけるようにしたい。

5 単元の目標

①知識及び技能

交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止、けがの手当について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解している。

②思考力・判断力・表現力等

けがの防止について、課題解決を目指して、これまでの経験や学習活動をもとに、防止策等について考えたり、判断したりしている。

③学びに向かう力、人間性等

けがの原因やその防止、手当について関心をもち、学習に意欲的に取り組もうとしている。

6 本校研究主題にせまる手立て

(1) 本校研究主題 いのちの大切さを実感し、たくましく生きる児童の育成

～自分の考えをもち、伝え合う児童の育成を通して～

(2) 主題にせまる手立て

手立て1 授業の工夫

- ・個人で考えてからグループでの話し合い活動や全体活動の実施

手立て2

- ・身近な事例から事故やけがを未然に防ぐ方法を考える

7 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	<p>①身近な生活におけるけがの原因やその防止、手当について、理解したことを発言したり、記述したりしている。</p> <p>②身近な生活におけるけがの原因やその防止、手当に関する簡単な手当の方法を正しく理解し、実践している。</p>	<p>①身近な生活におけるけがの原因やその防止、手当に関する課題を見つけ、その解決方法を話し合い、表現している。</p> <p>②身近な生活におけるけがの原因やその防止、手当に関する課題について、自分の生活と比べて、今後の生活に生かそうと表現している。</p>	<p>①身近な生活におけるけがの原因やその防止、手当に関する学習において、粘り強く進んで学習に取り組もうとしている。</p> <p>②身近な生活におけるけがの原因やその防止、手当に関する学習において、自ら目標を立てるなどして、調整しながら学習に取り組もうとしている。</p>
食育の視点に即した評価規準			
① 心身の健康の保持増進には、栄養バランスのとれた食事とともに、適切な運動、休養および睡眠が必要であることを理解している。【心身の健康】			

8 指導計画（5時間扱い）

時間	主な学習内容	評価の視点【評価の方法】
1 本時	<p>1. けがの発生</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 事故やけがはどのようにして起こるのだろう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・けがの原因を考え、けがは行動と環境が関わって起こることやけがを防ぐ方法を知る。 ・事故やけがを未然に防ぐためには、栄養バランスよく食事を取ることが大切であることを知る。 	思考・判断・表現 ②【発言・ワークシート】 食育の視点に即した評価規準 ①【発言・ワークシート】
2	<p>2. 交通事故の防止</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 交通事故を防ぐためにはどうしたらよいのだろう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故が起こる原因を予想し、防ぐためのポイントを知る。 ・事例から交通事故が起こる原因、交通事故を防ぐ方法を考える。 	思考・判断・表現 ①【発言・ワークシート】 知識・技能 ①【発言・ワークシート】
3	<p>3. 学校や地域でのけがの防止</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 学校や地域でのけがを防ぐためには、どうしたらよいのだろう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・校内や地域でのけがの事例から、けがを防ぐ方法を知り、校内や地域でのけがを防ぐ方法を考える。 	思考・判断・表現 ①【発言・ワークシート】 知識・技能 ①【発言・ワークシート】
4	<p>4. 犯罪から身を守る方法</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 犯罪から身を守るためにはどうしたらよいのだろう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・外見だけでは、不審者かどうかは分からないことを知り、犯罪被害にあわないためにはどうしたらよいか課題意識をもつ。 ・犯罪被害を防ぐポイントを知る。 ・事例から犯罪被害を防ぐためにどのように行動すればよいか考える。 	思考・判断・表現 ②【発言・ワークシート】 主体的に学習に取り組む態度 ②【発言・ワークシート】
5	<p>5. けがの手当</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 正しい手当の方法、簡単なけがの手当について知り、実践する。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい手当の方法、簡単なけがの手当について知り、実践を行う。 	主体的に学習に取り組む態度 ①【発言・ワークシート】 知識・技能 ②【発言・行動】

9 本時の学習と指導（1／5時）

(1) ねらい

- ・身近な生活におけるけがの原因やその防止、手当に関する課題について、自分の生活と比べて、今後の生活に生かそうと表現している。（思考・判断・表現）

(2) 食育の視点

- ・心身の健康の保持増進には、栄養バランスのとれた食事とともに、適切な運動、休養および睡眠が必要であることを理解している。(心身の健康)

(3) 展開

時間	学習活動・内容	指導上の留意点 (○指導 ◆評価規準 *食育の視点)	資料等
導入 5分	1 本時の課題をつかむ。(7分) ・事故やけがの体験や「ひやり」とした体験から、学習内容を考える。	○いろいろな場面での事故やけがの体験や「ひやり」とした体験を記入させ、発表させる。 ○自分の生活を振り返り、事故やけがの体験等を具体的に思い出させ、本時のめあてに迫れるようにする。 ○本時の学習に意欲的に取り組めるように、児童の言葉を生かし、本時のめあてを設定する。 <div data-bbox="384 842 1166 913" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">事故やけがは、どんなことが原因で起こるのか考えよう。</div>	ワークシート

展開 35分	<p>2 保健室利用者(けが)を知り、けがの発生原因を考える。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> いつ、どこで、どのようなけがが多いかを知り、発生原因を考える。 	<p>○本校の今年度の保健室利用者(けが)をまとめた結果を掲示し、けがが多く発生する時間帯やけがの種類について気づけるようにする。</p> <p>○いろいろな観点からけがの発生原因を考えられるように伝える。</p>	保健室利用者のグラフ
	<p>3 けがの発生原因を考え、整理する。(6分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書のイラストからどのようなけがが起こるか考える。 けがの発生には3つの原因があることを整理する。 	<p>○自分の生活を振り返りながら、教科書のイラストのよ うな状況のとき、どのようなけがが起こるか考える。</p> <p>○けがの原因も考えさせ、発表させる。</p> <p>○児童から出された考えを、心の状態や体の調子、人の行動、環境ごとに分けて板書する。</p> <p>○事故やけがは人の行動と環境が原因で起こり、さらに人の行動はその人の心の状態や体の調子と関係していることをおさえる。</p>	ワークシート 教科書のイラスト
	<p>4 ほかの場面をもとにけがの発生原因を考え、未然に防ぐ方法を考える。(22分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事例はどのようになるかを考え、表にまとめる。その後グループで話し合い、発表する。 けがを未然に防ぐ方法を考え、グループで話し合い、発表する。 	<p>○なぜ起きたのか原因を考え、心の状態や体の調子、人の行動、環境の表にあてはめて記入させる。</p> <p>○一人一人が自分の考えを発言する機会を確保したり多くの友だちの考えを聞き、考えを深めたりするために個人→グループ活動を行う。また、グループでの話し合いをクラス全体で共有する。</p> <p>○それぞれの原因を未然に防ぐためにはどのようにしたらよいか考えさせる。その際、環境については自分たちの力では変えられないこともあることを伝える。</p> <p>○体の調子を整えるためには、栄養バランスのよい食事とともに、適切な運動、休養及び睡眠が大切であることをおさえる。</p> <p>*心身の健康の保持増進には、栄養バランスのとれた食事とともに、適切な運動、休養および睡眠が必要であることを理解している。(心身の健康)</p>	ワークシート
終末 5分	<p>5 学習のまとめをする。(5分)</p>	<p>○本時の学習で学んだポイントをまとめる。</p> <p>○本時の学習で学んだことやこれからの生活に生かしていきたいことをワークシートに書くように伝える。</p> <p>◆身近な生活におけるけがの原因やその防止、手当に関する課題について、自分の生活と比べて、今後の生活に生かそうと表現している。(思考・判断・表現)</p>	ワークシート

1 けがの発生

事故やけがは、どんなことが原因で起こるのか考えよう。

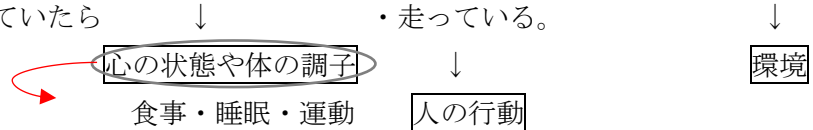
◆事故やけが、「ひやり」とした体験

- ・休み時間に階段で友だちとぶつかってたんこぶができた。
- ・理科の時間にカッターを使っていたら指を切ってしまった。

◆けがの原因

- ・急いでいる。
- ・廊下でおにごっこをしている。
- ・夢中になっている。
- ・走っている。

- ・水たまりがある。
- ・濡れている。



◆保健室の利用者状況

- ・休み時間にたくさんの方が使っている。
- ・きり傷、すり傷、だぼくのけがが多い。

◆けがの原因

本時5のけがの原因を記入する表

まとめ

事故やけがは、人の（行動）と周りの（環境）が原因で起こる。人の行動は、その人の（心）の状態や（体の調子）と関係している。